

第13回

勇気ある 経営大賞 実施報告



後援：東京都／日本商工会議所／関東商工会議所連合会／東京都商工会議所連合会

協力：フジサンケイ ビジネスアイ

(2015年10月発行)

第13回

目 次

会頭あいさつ 2

実行委員長あいさつ..... 3

選考にあたって 4

第13回「勇気ある経営大賞」受賞企業 5

大 賞 スタック電子株式会社 6

優秀賞 株式会社ウエマツ 7

株式会社 CSS 技術開発 8

特別賞 北星鉛筆株式会社 9

株式会社ヒカリ10

「獎勵賞」 受賞企業 11

第13回「勇気ある経営大賞」実施概要 13

「勇気ある経営大賞」過去受賞企業一覧 18

会頭あいさつ



東京商工会議所 会頭

三村 明夫

わが国は、20年にわたる「供給過剰・デフレ」の状態から、「供給不足・インフレ」に移る「変わり目」の時期にあります。需給ギャップの解消が進むなど、明るい兆候が見えつつあるなかで、いよいよ日本の潜在成長率を高めるための本質的な政策、すなわちサプライサイドの成長政策を遂行すべき局面に直面しています。サプライサイド政策を実行するうえで一番重要なのは、経営者のマインドがデフレ時に妥当とされた企業行動から、インフレ時に妥当とされる企業行動へと移行できるか、すなわち貯蓄主体から投資主体にすばやく転換できるかということです。

企業活動を行う上では、変化する環境にビジネスチャンスを見出し、個々の企業が自らの絶えざる進化により、自助努力を積み重ねていくことが大切です。中でも、わが国の全企業数の99.7%を占め、全労働人口の約7割を雇用する中小企業は日本経済の強靱性を支える基盤であり、経済成長の原動力として中小企業の成長に向けた勇気ある挑戦が不可欠です。

本年で第13回目を迎える「勇気ある経営大賞」

は、革新的あるいは創造的な技術・技能やアイデア、経営手法等を通じて独自性のある製品・サービスを生み出した“勇気ある挑戦”を称える賞であります。応募のあった171社の業種や業態は様々ですが、いずれの中小企業も、経営者の高い志と独創的なアイデアや創意工夫をもって、限られた経営資源を最大限に活用する企業ばかりでした。

とりわけ受賞された企業は、困難な経営環境に直面しながらもピンチをチャンスと捉え、課題解決を図ってきた勇気ある経営を体現した好事例であり、後に続く中小企業に勇気とヒントを与え、成長に向けたイノベーションに取り組むためのきっかけになるものでした。また、今回は惜しくも選に漏れた企業もその取り組みは輝くものが多く、今後の勇気ある挑戦を期待いたします。

末筆となりましたが、受賞されました企業各社の一層のご活躍にご期待申し上げるとともに、本賞の実施にあたり、ご推薦をいただきました関係各機関、ならびに選考に携わっていただきました関係各位に、厚く御礼申し上げます。

実行委員長あいさつ

「勇気ある経営大賞」実行委員長
東京商工会議所 副会頭

伊東 孝紳



本年度より「勇気ある経営大賞」の実行委員長という大役を仰せつかりました。

第13回を迎えた本顕彰制度は、昨年を上回る多くの企業にご応募をいただきました。最終選考に残った企業を初め、ご応募頂いた企業の多くは創意工夫に溢れ、チャレンジ精神が旺盛な素晴らしい企業でした。

今回はその中から、大賞1社、優秀賞2社、特別賞2社を選出いたしました。また今後本賞を受賞することが期待される企業に奨励賞を新設し、9社を選出しております。この場を借りまして募集や選考に当たりご尽力頂いた皆さまには厚く御礼を申し上げますとともに、本顕彰制度にチャレンジされた全ての企業に感謝を申し上げます。

大賞企業のスタック電子(株)は、オシロスコープ用のプローブの圧倒的な市場シェアに安住せず、「高周波と光の伝送技術で社会に貢献する」という創業時の理念に立ち戻って、中小企業の参入は難しいと言われていた放送・通信業界に参入する決断をしました。携帯電話基地局やテレビ放送のデジタル化に不可欠な高周波同軸コネクタ・ケーブルの開発に挑戦し、実績を残すという突出した技術力を持つだけでなく、創業者が自分の持ち株を社員に譲渡し、企業を株主や従業員みんなのものにするという事業継承方針も高く評価され

ました。優秀賞2社には、経営危機を好機ととらえた決断により回復後更なる飛躍をしている企業を、特別賞2社には、自社製品への徹底的なこだわりから新しい市場を作り事業を成立させてきた企業を選出いたしました。

今回初めて選考に参画し実感したことは、事業の発展はお客様に喜んでいただくことが原点ですが、その接点となるのは商品やサービスであり、お客様に近いところほど先見性をもって動けるために、世の中の動向を的確にとらえ、結果として良い経営ができていることであります。企業規模の大小にかかわらず、社会環境や経営環境ではなく、お客様に集中していくということを徹底するべきで、今回入賞した企業はいずれも経営者がこのスピーディーな経営を実践されており、勇気づけられました。

私ども東京商工会議所は、このような「勇気ある経営」を体現した企業の活動を広くPRすることで、後に続く多くの企業に、夢と挑戦する勇気を与えることが出来ると考えています。今回惜しくも入賞を逃した企業においても、勇気ある経営活動を継続・進化させ、是非再チャレンジして頂きたいと思います。

今後とも本顕彰制度へのご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

選考にあたって



「勇気ある経営大賞」選考委員長
東京理科大学 イノベーション研究科教授

伊丹 敬之

今年の「勇気ある経営大賞」の受賞企業は、東京らしい特徴をさまざまな形で持っておられる企業が揃った、というのが選考の最大の印象であった。

大賞のスタック電子は電子機器、優秀賞のウエマツは印刷業、同じく優秀賞のCSS技術開発は測量サービス、特別賞の北星鉛筆は鉛筆製造、同じく特別賞のヒカりは理容・美容専用のハサミのメーカーである。

いかにも東京の中小企業らしい分野が揃っているし、開発に大いに力を入れて世に認められ、あるいはユニークなコンセプトで社会に訴えている、そんな企業ばかりである。大きな方向性として、東京の中小企業の未来を見事に指し示している。東京商工会議所の賞として、まことにふさわしい。

また、勇気のある経営の決断という点でも、ユニークな決断をなさった企業が揃ったことも、選考委員会としてはうれしい限りであった。

大賞を受賞されたスタック電子は、二つの意味で勇気ある決断があった。一つは、自分たちの創業の志を忘れずに、創業後の一段落をした時期に、あえて世に技術を問うような新製品の開発に挑戦し、見事に成功したことである。光の伝送機器の分野での大きな活躍が今後も期待される。

スタック電子のもう一つの勇気ある決断は、これも創業の志を忘れず、企業を創業者個人のものと考えずに、みんなのものと考え事業承継をきちんと行ったことである。具体的には、創業社長の持株を従業員を中心に譲渡し、また後継社長を長年ともに苦労してきた仲間の中から選んだ。

中小企業がユニークな成長を続けていくためには、技術力を高め、新製品を世に問い、また経営の社内基盤をしっかりとすることが大切であることは、多くの方が考えることであるが、それを実行できる勇気と決断は称賛に値する。

優秀賞のウエマツもまた、印刷の専門工場として印刷会社には選ばれる印刷工場を目指す、というユニークなコンセプトで最新鋭の工場の建設をリーマンショック直後に踏み切った。同じく優秀賞のCSS技術開発は、最近では道路関係のメンテナンスのためのユニークな測量の分野を、自分たちの地道な蓄積を活かしつつ最新鋭機器の思い切った投入で切り開いている。

特別賞の北星鉛筆は鉛筆にかける情熱一筋で、鉛筆文化を伝えつつ木材くずのリサイクルに積極的に取り組んでこられたし、同じ特別賞のヒカりは理容用のハサミの材料開発や研磨などの技術開発など、驚嘆するような技術的努力を重ねてこられた。ともに、この道一筋の執念を感じる企業である。

また、今年から惜しくも最終選考で本賞受賞を逃した企業、三次選考でも優秀と認められた企業を10社程度選んで、奨励賞として表彰することにした。多くの企業のご努力に少しでも報いるためである。

例年のことだが、選考のための現場調査などをご担当頂いたワーキンググループの委員の方々には、夏の暑い盛りに作業をしていただいた。さらに、惜しくも三次選考にもれた多くの企業の方々にも調査をご協力頂いた。みなさんのご努力に、心から感謝したい。

第13回「勇気ある経営大賞」受賞企業

大 賞

ストック電子株式会社

優秀賞

株式会社ウエマツ

株式会社CSS技術開発

特別賞

北星鉛筆株式会社

株式会社ヒカリ

奨励賞

株式会社井口一世

協育歯車工業株式会社

株式会社協和

株式会社コスモテック

ジャパンメディアシステム株式会社

株式会社新栄スクリーン

日本ビジュアルサイエンス株式会社

株式会社ハセベ

ロイヤルブルーティージャパン株式会社

※2015年9月17日発表

※同賞内は社名50音順

第13回 勇気ある経営大賞

スタック電子株式会社

大賞

代表取締役社長

わたなべ かつひろ
渡辺 勝博



創業者の田島名誉会長(左)と渡辺社長(右)

所在地 東京都昭島市武蔵野3-9-18
資本金 7,000万円
従業員数 53名(パート・アルバイト除く)
創業 1971年(昭和46年)

【事業の概要】

テレビ放送や防災無線等で用いられる高周波と光の伝送機器の製造・販売

受賞理由

- 中小企業には難しいとされた放送・通信業界へと参入。実績が重要な市場で参入当初は苦勞するも、結果を残し、今では大手企業からも頼られる存在となっていること。
- 創業者の「会社は経営者個人の物ではなく、株主や従業員みんなの物」という考えのもと、全社員の70%が株主となり、創業者の“想い”も受け継いでいること。

同社は昭和46年8月、創業者である田島瑞也氏が、脱サラをした元同僚4名とともに小平市で創業した。「高周波と光の伝送技術において『独創的技術開発』をモットーに、技術を通じて社会に貢献したい…」という経営理念を掲げ、スタートしたものの、創業当初は目立った成果があげられず資金繰りにも苦勞した。しかし、創業から3年目となる昭和49年に転機は訪れる。

ある大手企業から「オシロスコープ用プローブ」を受注し、これがヒットした。創業10年目の昭和56年頃にはプローブで国内シェア100%、世界シェア70%を達成し売上は拡大するも、創業者はその当時ある危機感を抱き始めた。それは、売上構成に占めるプローブの比率が68%まで高まってしまったことだ。「1プローブメーカーに止まりたくない」との強い思いから、創業者はある決断をした。それは、「高周波と光の伝送技術で社会に貢献する」という創業時の理念に立ち戻り、中小企業の参入は難しいと言われていた放送・通信業界へ参入することだった。実績が重要なマーケットであるゆえに、当初は苦勞するが、公的融資制度や補助金を使って資金を確保し、大手の手掛けない高周波同軸コネクタ・同軸ケーブルの開発に何とか成功する。開発した製品は、大学や研究機関への売り込みによって、研究にも使われるようになって徐々にその知名度は高まった。その後も、業務用高周波放送・通信機器に特化して開発を重ね、地上アナログから地上デジタルへの切替の際には、各テレビ局から直接受注するまでに至り、今では大手企業からも頼りにされている。

その後も順調に業績は伸び、創業10年目からは毎年新卒社員を採用してきた。全社員に占める新卒社員の割合は7割強に達し、同社を支える人材も増えていった。加えて、創業者の「会社とは経営者個人の物ではなく、株主や従業員みんなの物」という一貫した考えのもと、研修等を通じて全社員を対象に後継者候補を育成しようとしたが、立場が保証される安定志向の社員と、何ら保証のない経営トップと同じ覚悟を求めることは難しいと分かり、ある時期から事業承継の壁にぶち当たってしまう。そこで、創業者は発想の転換を図った。自分と同じ“想い”でやっていけそうな社員16名を選抜して後継者育成研修を実施、約10年間の年月を掛け、現社長である渡辺勝博氏を後継者に指名した上で、同じ“想い”で社長を支える体制作りにも取り組んだ。社長の持ち株比率は同族経営の定義に抵触しない範囲に留め、全社員の70%(社員持ち株会制度による)が株主となる体制を構築、資本のみならず創業者の“想い”も次代に受け継ぐことで創業者の思い描いてきた本当の意味での事業承継を実現した。

渡辺社長は、創業者がどうやってこの会社を築き上げてきたか、その“理念”や“想い”を伝えることで、次代に更なる挑戦を促している。



創業者の理念「会社は株主・従業員みんなのもの」



創業時は、田島相談役の自宅の一室に間借りしていた。



同社の取り扱う製品は多岐に渡る

第13回 勇気ある経営大賞

優秀賞

株式会社ウエマツ

代表取締役社長

ふくだ ひろし
福田 浩志



所在地 東京都豊島区南長崎3-34-13
資本金 1億4,000万円
従業員数 196名(パート・アルバイト除く)
創業 1958年(昭和33年)

【事業の概要】

ポスター・カタログなどの高付加価値多色印刷物製造

受賞理由

- 「経営の見える化」をはじめとする各種の社内改善に着手し、前経営者のもとで大きく傾いた財務を立て直した。その信用を背景に金融機関からの支援を受け、リーマンショックの逆風を好機ととらえ、新工場を建設した。その最新鋭の工場を武器に、同業の大手・中堅の優良印刷会社から業務を受託する業界最大の印刷ファンドリー(受託製造専門会社)という独自のビジネスモデルを確立し業績を伸ばしていること。



平成22年2月竣工の新工場



最新鋭の印刷設備



豊島区親子工場見学会

証券会社のトップセールスマンであった現社長は平成15年に妻の実家の印刷会社の経理を見てほしいと請われた。経営・業務・情報・人事の「見える化」を徹底したところ経営が大きく傾き始めていてあと数か月という状況が判明した。支援依頼のため20近くの銀行を訪ねるも担保物件がなく全く相手にされない。自ら策定した「財務のリストラ」と「最新設備投資」を両輪とした3年スパンの再建計画で説得するしかなく、金融機関訪問を続けるうち、たまたま海外支店より帰任した支店長がメインバンクに着任し事業計画を信じて融資を承諾してくれた。この動きを見て他の金融機関も追随し、当面の資金難は乗り切った。

当初ショートトリリーフと考えていたが、このままではジリ貧となるのは目に見えている。さらにメインバンクだったメガバンクの融資条件は、自分が責任を持って経営計画を全うすることだったので、平成19年、証券業界への復帰は断念し代表取締役社長に就任した。

オールドエコノミーの代表とも言える印刷業は市場の縮小より廃業による事業者数減少のペースが速かったが、そこに活路があると考えた。頭の中には証券会社時代にM&Aを通じてなじみがあった半導体業界のファンドリーというビジネスモデルが印刷業界でも生かせるのではという想いがあった。下請けに徹することで、広く業界の得意先から年間を通じて平均した仕事量を確保しつつ、最新鋭の設備を活用して品質・コスト・納期において圧倒的な競争力を実現するというコンセプトである。

豊島区内に点在していた印刷工場は財務リストラによる集約化を進めていたが、周辺宅地化に伴う環境配慮・工場の老朽化・物流の限界など品質管理および生産管理面からも工場移転の必要性が高まってきた。平成20年偶然埼玉県戸田市にあった約1,000坪の工場用地と巡り合い取得、建設計画プロジェクトを立ち上げたが、印刷産業自体が右肩下りの状態であり、リーマンショックによる前年比-8.4%ダウンという大幅な需要の落ち込みのため一時計画の見直しも迫られた。一方建設資

材の高騰等で当初は対予算50%オーバーと採算性が見通しが立たなかったが、リーマンショック後の需要減により建設コストが下がり採算ベースに収まった。

平成22年2月新工場が竣工、分散していた拠点を新工場へ移管した。環境に配慮した新工場は「印刷業界のモデル工場」として高く評価され、年間100件以上の工場見学と相まって、同社最大のセールスマンとして現在上場している印刷会社すべてと取引実績を持つなど躍進を続けている。



リーダーシップミーティング

第13回
勇気ある経営大賞

株式会社CSS技術開発

優秀賞

代表取締役

たかしろ ゆうぞう
高城 雄三



所在地 東京都多摩市勾田1251 サークビル3階
資本金 3,000万円
従業員数 42名(パート・アルバイト除く)
創業 1985年(昭和60年)

【事業の概要】

測量サービス、測量ソフト開発・販売、測量機レンタル、土質試験

受賞理由

- 当社が開発した測量用ソフトウェアをライバル会社に違法コピーされ、大きな損害を受けたが、それを機に更なる技術向上を図り、造園測量から土木・堤防測量などの新規分野へ進出し、3D スキャナ等を活用した「世の中にない技術」で事業を大きく拡大させたこと。
- 5人いた全社員が退職するという危機的事態に直面。元社員によるライバル会社の立ち上げにより当社の売上が急落するも、社長自らがこれまでの経営の手法を自省して社員が働きやすい環境を構築し、約3年を掛け売上を回復させたこと。

同社は代表が前職の経験を基に造園測量業として創業した。30年前、1日を費やしての手計算が当たり前だった座標計算を小型コンピュータ端末で独自プログラムを作成して数十分に短縮した。創業から現在まで業績を伸ばしてきた同社であるが、これまで多くの困難を乗り越えてきた。

創業11年目の平成8年、代表がある朝出社すると5人いた全社員が退職していた。労働環境等に不満を持った社員が、同社近くで測量会社を立ち上げたのだった。代表はこれまでの経営手法を自省して社員が働きやすい環境を構築。約3年を掛け売上を回復させ、事業継続を図った。

創業20年目の平成17年には独自開発した測量用ソフトウェアをライバル会社に違法コピーされ、大きな損害を被るなどした。代表はこれを機に奪われたシェアを奪還すべく技術向上に励み、より速く安く正確に行える様々な測量技術を次々と生み出していった。

また、それまで事業の中心だった造園測量から土木・堤防測量などの新規分野へ進出し、その後事業を大きく拡大させた。同時に、最新機器の活用とソフトウェア開発により、効率化を進めてきた。道路を転がすだけで測量できるコロコロ測量もそのときの発明の一つだ。

一方で車道に出て測量を行うと、危険を伴う上に交通規制による渋滞を引き起こす問題がある。国土交通省「新技術情報提供システム」に同社独自技術として登録されたMMSは、着脱可能な高精度3Dスキャナを利用した測量技術だ。開発当時は機器メーカーから「開発不可能」と言われ、価格も高く、社内の反発も強かったが、「世の中にない技術」を目指して代表自らが陣頭指揮を執り、全社を挙げて開発に取り組むことで開発に成功した。その結果、交通規制の実施や、車道に出て測量をしなくても車で走るだけで短時間(従来比1/10の所要時間)で高精度(誤差±1～3mm)に路面の測量を行なう技術が完成した。

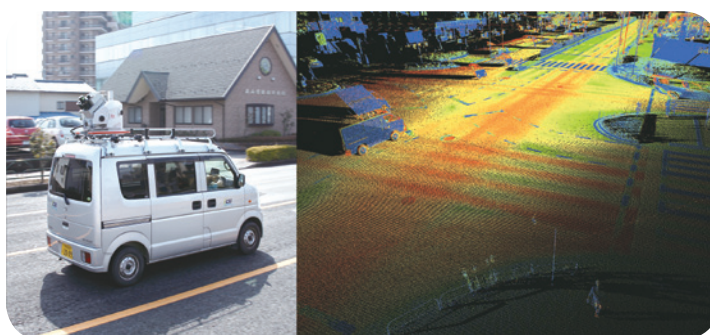
過重労働が問題になりやすい業界であるにもかかわらず、今では有給休暇取得率100%以上を達成するなど、従業員のワークライフバランスの充実を図っている。社員一人ひとりととの面談を毎年3回実施し、積極的なコミュニケーションを通じて士気向上を実現した。代表は更なる技術開発と事業拡大、そして顧客と従業員の満足度向上を目指している。



ザウルス版おまかせ君プロ
同社の飛躍のきっかけとなった



道路を転がすだけで測量
できるコロコロ測量の開発



3Dスキャナを搭載したMMSによる測量風景と3D点群

第13回 勇気ある経営大賞

北星鉛筆株式会社

特別賞

代表取締役社長

すぎたに かずとし
杉谷 和俊



所在地 東京都葛飾区四つ木1-23-11（本社所在地 中央区）
資本金 6,000万円
従業員数 22名（パート・アルバイト除く）
創業 1951年（昭和26年）

【事業の概要】

鉛筆製造及び製造時に排出される廃棄物「おが屑」の再商品化事業

受賞理由

- 鉛筆製造時に排出される約40%の「おが屑」の再利用により、木の粘土、木の絵の具、着火用薪などの製品開発に成功。子供から大人まで楽しめる製品として商品化し、「循環型鉛筆産業システム」を構築したこと。
- 平成元年の工場建て替えを機に、子供向けの工場見学をスタート。平成22年には、「東京ペンシルラボ」という子供向けの学習施設を開設し、子供の教育面に貢献していること。



葛飾区四つ木の工場



循環型商品もくねんさん



大人の鉛筆

葛飾区の京成電鉄押上線四つ木駅近くに一見して鉛筆関係の会社だろうと分かる建物。

その建物が、創業64年の老舗鉛筆メーカーの同社工場である。

「鉛筆は、我が身を削って人のためになり、真ん中に芯の通った人間形成に役立つ立派な職業だから、利益にとらわれなくて、鉛筆のある限り、家業として続けるように」という創業者である祖父の教えである「鉛筆の精神」を受け継ぎ日々奮闘する4代目社長に大きな転機が訪れたのは事業承継してから6年目のことであった。

同社の歴史は、屯田兵として北海道開拓時代に木の豊富さに目を付け杉谷木材を開業したことに始まり、鉛筆用の鉛板を製造し内地での販売としては第一号企業であった。

元々、東京を中心に全国200社以上あった同業者もパソコンの普及などに押され現在では都内で32社にまで減少。そうした中で、鉛筆製造の存在価値を推進する中から「循環型鉛筆産業システムの構築」事業化に成功する。

鉛筆製造時に排出される「おが屑」は過去において銭湯、工場燃料として利用されていたが、利用減少、環境問題などから新たな「おが屑」再利用の研究をされ木の粘土、木の絵の具、着火用薪等の再商品化の道筋を付ける。

また平成26年に工場見学と鉛筆学習施設を併設する「東京ペンシルラボ」をオープンし、子供から大人まで楽しみ学べる教育面、観光面で業界の新しい存在価値確立に貢献。昨年は、年間1万人を超える見学者を集め鉛筆製造の木工工程、「おが屑」の再商品化工程を伝えている。

さらに循環型商品以外でも子供主体の鉛筆ユーザーを大人へ広げるべく「大人の鉛筆」を市場投入してヒットさせるほか、大人になってからでも正しい筆記具の持ち方を練習したい人や、筆記具の正しい持ち方を子供に教たい人に向けた親子で学ぶことのできる「大人のもちかた先生。」など独自商品を開発している。

代表の夢は、「おが屑」を原料にした火力発電であり、平和で住み良い地球環境を次世代に繋いでいくという更なる挑戦に終わりは無い。



工場見学風景

第13回
勇気ある経営大賞

株式会社ヒカリ

特別賞

代表取締役社長

たかはし かずよし
高橋 一芳



所在地 東京都板橋区幸町 25-8
資本金 1,300万円
従業員数 48名(パート・アルバイト除く)
創業 1967年(昭和42年)

【事業の概要】

理容師・美容師専用シザーズ、ネイリスト専用ニッパー開発・製造・販売

受賞理由

- 先代が理容室を経営していたが、日本刀の構造(蛤刃)を取り入れたハサミを製品化できるメーカーがなかったため、ハサミの製造に進出。親子で鋼材の選択、熱処理、デザイン等、試行錯誤を繰り返して独自商品として完成させた。その大幅な耐久性の向上・使い勝手の良さから理美容ハサミの常識を一新し、さらに従来の問屋経由でなくメンテナンスを販売の条件にした代理店制度による独自販売網を確立、国内のみならず海外でも広くその製品が支持されていること。



同社の代表モデル



焼き入れ前



素材の選択

昭和33年に理想の理容ハサミをつくるために創業した企業。理容師である創業者がハサミの研究を重ね日本刀の原理を取り入れ特許(蛤刃)を取得。しかしその蛤刃の構造を実現できるメーカーがなかったため、自ら製造に乗り出す。昭和42年理容師として修行先から戻った現代表も同社の前身である(有)光刃物研究所に参画し、最適の素材の選択・焼き入れ温度や刃先の角度を求めて、気の遠くなるような実験を繰り返した。また従来の縦グラインダーから横の平面グラインダーを開発して蛤刃をつくる研磨ノウハウを獲得、手作りの職人技術を確立した。

その結果、従来の理容ハサミが毎週3～4回研ぐ必要があったのに対し、買ってすぐ切れる、長い間よく切れ1年間研がなくても良い、という理想の理美容ハサミが完成した。しかし昭和48年に発売開始したものの、問屋・販社では扱ってくれず、全国北海道から九州まで直接理容師・ユーザーに売り込みに行った。理容師でもある現代表自らが各地を訪問し商品の実演説明を繰り返すうちに6年間が経過し、ようやく業界で知られるようになると、理容師がハサミを研ぐ苦痛から解放される商品は口コミで広がり、従来の製品の3倍以上の価格であるにもかかわらず飛ぶように売れ始めた。

昭和60年には販売会社、(株)ヒカリ・プロダクツ・ジャパンを設立し全国の販売会社と代理店契約を結んだ、当時はどの鋏メーカーにもアフターサービスはなく売りっぱなしであったが、光アフターシステムでは、購入後3

年間3回研磨無料とするとともに製造番号の打刻によりコンピューターを使った顧客管理を導入した。海外進出の際も販売代理店にセールスマン教育と研磨技術の研修を義務付けており、販売からメンテナンスまで対応できる体制を構築、ブランドイメージを高めている。

平成13年に光刃物研究所とヒカリ・プロダクツ・ジャパンが合併し、現在の株式会社ヒカリが現代表のもと発足した。ユーザーである理容師や美容師が理想とする理美容ハサミの追求という経営理念は、新入社員にまずカットの技術を教えるほか、理容師・美容師の免許取得を会社として応援するということにも体现されている。またユーザーの声をヒントにスキバサミ、疲れにくいハサミ、手を切りにくいハサミや腱鞘炎の人でも使用できるハサミ、新たな機能を持つハサミを次々と開発・特許取得しており、業界をリードする存在になっている。



ハサミの教育



トップスタイリストによるヘアショー

第13回勇気ある経営大賞「奨励賞」受賞企業

奨励賞創設の趣旨について

本年より、大賞・優秀賞・特別賞とは別に、革新的な製品・サービスやビジネスモデルを生み出すための努力がみられ、総合的な観点から今後、大賞・優秀賞・特別賞を受賞されることが期待される企業に奨励賞を贈呈することになりました。

「第13回勇気ある経営大賞」における奨励賞受賞企業（9社、社名50音順）

株式会社井口一世

代表取締役 井口 一世

所在地 東京都千代田区飯田橋4-10-1
従業員数 28名（パート・アルバイトを除く）
創業 2001年（平成13年）

【主な企業の特徴】

家業のプレス屋を廃業し、金型レス加工の板金業を立ち上げる。経験や勘に頼っていた板金加工技術を数値化する技術確立した。

協育歯車工業株式会社

代表取締役 井田 斉昭

所在地 東京都台東区東上野1-8-3
従業員数 81名（パート・アルバイトを除く）
創業 1958年（昭和33年）

【主な企業の特徴】

現社長が平成25年に32歳の若さで社長に就任、経営改革に取り組む。その後、金属製の小型歯車の製造において、業界最小のモジュール0.3の精度の歯車を実現した。

株式会社協和

代表取締役社長 若松 種夫

所在地 東京都千代田区東神田2-10-16
従業員数 227名（パート・アルバイトを除く）
創業 1948年（昭和23年）

【主な企業の特徴】

ランドセルのファッション化・デコレーション化の時流の中、世の中の子供達が使いやすいランドセルの製造・販売を追求し他社との差別化に成功。

株式会社コスモテック

代表取締役社長 高見澤 友伸

所在地 東京都立川市錦町5-5-35
従業員数 28名（パート・アルバイトを除く）
創業 1989年（平成元年）

【主な企業の特徴】

電子部品用の高機能保護フィルムを自社ブランドで開発・販売。リーマンショック後は海外展開に活路を求め、輸出比率を9%から81%として、国内外比率を逆転させた。

ジャパンメディアシステム株式会社

代表取締役社長 富樫 泰章

所在地 東京都千代田区外神田2-14-10 第2電波ビル 2F
従業員数 81名（パート・アルバイトを除く）
創業 1984年（昭和59年）

【主な企業の特徴】

自社独自で、Web 会議システム Live On を開発。国内トップクラスの技術的優位性により、現在では多くの企業に導入されるようになった。

株式会社新栄スクリーン

代表取締役 鈴木 正宏

所在地 東京都品川区西五反田6-17-16
従業員数 7名（パート・アルバイトを除く）
創業 1974年（昭和49年）

【主な企業の特徴】

バブル崩壊後、主力の自動車部品印刷が低迷し、同社の特殊印刷技術を主軸とした駅自動改札機の IC タッチ部 LED モジュールを開発。ディスプレイ事業の展開に弾みをつけた。

日本ビジュアルサイエンス株式会社

代表取締役 滝 克彦

所在地 東京都新宿区新宿6-26-2 コーラルビル4階
従業員数 7名（パート・アルバイトを除く）
創業 1995年（平成7年）

【主な企業の特徴】

3D 画像の画像処理ソフトの開発を手掛け、輸入販売から自社開発にシフト。同社のソフトウェアは、ユーザーの使いやすいものへと改良を重ね、業容は拡大している。

株式会社ハセベ

代表取締役社長 長谷部 忠彦

所在地 東京都荒川区西日暮里5-27-5
従業員数 45名（パート・アルバイトを除く）
創業 1946年（昭和21年）

【主な企業の特徴】

大都市中心部の防火地域において耐火構造の木造 3 階建て住宅建設に取り組み、自ら主導して業界関係者に働きかけ、研究会を発足して告示制定の実現に導いた。

ロイヤルブルーティージャパン株式会社

代表取締役社長 吉本 桂子

所在地 神奈川県川崎市川崎区南渡田町1-1
（都内：東京都中央区）
従業員数 10名（パート・アルバイトを除く）
創業 2006年（平成18年）

【主な企業の特徴】

非加熱殺菌する製法の茶飲料をワインボトル入り的高级茶として販売、高級茶というマーケット創造を実現し、そのブランドを確立しつつある。



第13回「勇気ある経営大賞」実施概要

趣 旨

「勇気ある経営大賞」は、東京商工会議所が、厳しい経営環境の中で勇気ある挑戦をしている中小企業またはグループ（以下、企業）を顕彰する制度。

革新的あるいは創造的な技術・技能やアイデア・経営手法等により、独自性のある製品・サービスを生み出している企業の顕彰を行い、その活動を広くPRすることで、後に続く企業に目標と勇気を与え、ひいては経済の活性化に資することを目的とする。

なお、応募にあたっては、業種・業歴やベンチャー・既存企業の別は問わない。

本賞における“勇気”とは

本賞では、過去に拘泥することなく大きく経営の舵を切る決断を下し、実際に以下の行動をとったことを“勇気”とし、下記の選考基準の「チャレンジ精神」として評価する。

◆大きなリスクに挑戦したか

◆常識の打破に挑戦したか

◆高い障壁に挑んだか

◆高い理想の追求を行ったか

選考基準、評価のポイント

1.製品・サービス ①革新性・独自性・優位性 ②技術・技能・ノウハウ ③市場性・成長性・社会性	○製品・サービスに革新性・独自性・優位性があり、新たな付加価値を生み出しているか。 ○技術・技能・ノウハウに、他社が追随できない優れた特徴はあるか。 ○市場シェア、顧客満足度は高いか。製品・サービスに成長性や社会性はあるか。
2.経営手法 ①ビジネスモデル ②人材の育成・活用 ③コンプライアンス、環境対策、社会貢献活動など	○ビジネスモデルに独自性があり、他の中小企業の模範となるものか。 ○社外資源（取引先や公的機関など）を有効活用しているか。 ○多様な人材がイキイキと働くよう、人材の育成や従業員満足度の向上に力をいれているか。 ○コンプライアンス徹底や環境対策、社会貢献活動に積極的に取り組んでいるか。
3.チャレンジ精神 ①チャレンジ精神と事業化能力 ②経営理念 ③成長戦略	○確固たる戦略に基づいてチャレンジ精神を発揮し、成果をあげているか。 ○いかなる苦境にも、工夫とイノベーションによりそれを克服し、成長を果たしたか。 ○経営理念や成長戦略が明確であるか。また、それが社員にまで十分浸透しているか。
4.業績・財務状況 ①財務基盤 ②収益性・成長性	○将来的な企業存続のための財務基盤が確立しているか。 ○収益性・成長性は高いか。【本項目は副次的な参考要素にとどめる】

※上記の選考基準項目をすべて満たしていない場合でも、特に優れた項目について積極的な評価を行います。

※選考に関しては、過去の顕彰・表彰実績や大企業との資本関係の有無等を考慮する場合があります。

■ 運営組織（敬称略・順不同）

① 実行委員会（最終選考委員）

委員長 伊東 孝紳 東京商工会議所 副会頭
（本田技研工業株式会社 取締役相談役）

委員 石井 卓爾 東京商工会議所 副会頭・中小企業委員長
（三和電気工業株式会社 社長）

平井 克彦 東京商工会議所 特別顧問・工業部会長
（東レ株式会社 相談役）

伊丹 敬之 東京理科大学 イノベーション研究科 教授

望月 晴文 東京中小企業投資育成株式会社 社長

遠藤 一夫 フジサンケイビジネスアイ 社長

② 選考委員会（最終選考委員）

委員長 伊丹 敬之 東京理科大学 イノベーション研究科 教授

副委員長 望月 晴文 東京中小企業投資育成株式会社 社長

委員 鵜飼 信一 早稲田大学商学大学院 教授

大久保秀夫 株式会社フォーバル 会長

今野 由梨 ダイヤル・サービス株式会社 社長

原田 晃 東京都立産業技術研究センター 理事・開発本部長

保坂 政彦 東京都中小企業振興公社 専務理事

斎木 純一 フジサンケイビジネスアイ 専務取締役

西尾 昇治 東京商工会議所 理事・事務局長

③ 選考ワーキンググループ（第二次・第三次選考委員・実地調査担当）

座長 鵜飼 信一 早稲田大学商学大学院 教授

委員 大村 智之 東京中小企業投資育成株式会社 統括審査役

藁品 和寿 信金中央金庫 地域・中小企業研究所 主任研究員

平野 博 東京都中小企業振興公社 新事業創出課長

井上 考二 株式会社日本政策金融公庫 総合研究所 主任研究員

松浦 徹也 一般社団法人東京都中小企業診断士協会

四ッ柳茂樹 株式会社OCL 代表取締役

斎木 純一 フジサンケイビジネスアイ 専務取締役

間部 彰成 東京商工会議所 理事・中小企業部長

④第一次選考委員

委 員	遠藤 啓治	中小企業診断士
	坂本 篤彦	中小企業診断士
	佐川 博樹	中小企業診断士
	高島 利尚	中小企業診断士
	田草川博信	中小企業診断士
	谷 きよみ	中小企業診断士
	角澤 明	中小企業診断士
	松浦 徹也	中小企業診断士

■ 顕彰対象ならびに賞金

独自の技術・技能や経営手法によって、新たな製品・サービスを生み出すなど、勇気ある挑戦（経営）をしている中小企業またはそのグループ。特に製品・サービス、経営手法、経営者の理念・ビジョンのほか、業績や財務状況などの面で優れ、革新性と独自性にあふれた中小企業またはそのグループ。

「勇気ある経営大賞 大 賞」 賞金：200万円

「勇気ある経営大賞 優秀賞」 賞金：50万円

「勇気ある経営大賞 特別賞」 賞金：30万円

※選考の結果、大賞に該当する企業がない場合や複数企業が大賞となる場合もあり得る。

大賞企業が複数の場合は、大賞賞金額の範囲内で等分するものとする。

※特別賞は、挑戦度や商品力、経営手法、経営者の理念・ビジョン、業績・財務状況などの総合的な面では大賞・優秀賞に及ばないものの、極めてユニークな取り組みやキラリと光る個性を持った企業に贈賞する。

■ 応募資格

次の①②のいずれにも該当する企業もしくは企業グループ（自薦・他薦は問わない）

①中小企業基本法に定める中小企業（※）で原則として未上場企業。

※資本金3億円以下または常時雇用する従業員300人以下の会社。ただし、卸売業の場合は資本金1億円以下または従業員100人以下、小売業の場合は資本金5,000万円以下または従業員50人以下、サービス業の場合は資本金5,000万円以下または従業員100人以下。
みなし大企業はご応募できません。

②東京都に事業活動の拠点（支社・支店・工場・営業所・事務所等も含む）を置く企業。

但し、1都8県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・群馬県・茨城県・栃木県・山梨県・静岡県）に本社機能がある企業に限る。なお、東京商工会議所の会員・非会員を問わない。

■ 募集期間

2015年1月8日～3月6日

■ 応募総数

171件

～業種別内訳～

建設業…… 10社 (5.8%)	卸売業…… 11社 (6.4%)
製造業… 66社 (38.6%)	小売業…… 13社 (7.6%)
情報通信業… 21社 (12.3%)	不動産業 … 3社 (1.8%)
運輸業…… 3社 (1.8%)	サービス業… 44社 (25.7%)
合 計：171社	

■ 選考過程

第一次選考会（書類審査）	4月21、22日
第二次選考会（書類審査）	6月9日
実地調査	6月24日～8月3日
第三次選考会（実地調査審査）	8月20日
最終選考会（プレゼンテーション審査）	9月8日

■ 推薦機関一覧

株式会社日本政策金融公庫	株式会社インタートレード
株式会社日本政策投資銀行	SMK株式会社
東京中小企業投資育成株式会社	TOMAコンサルティンググループ株式会社
株式会社東京都民銀行	Tri-Wall Limited
朝日信用金庫	株式会社IA
亀有信用金庫	株式会社エイチアール・シー
興産信用金庫	株式会社研光通商
城北信用金庫	佐藤経営事務所
昭和信用金庫	日本ポリエチレン株式会社
西武信用金庫	ヒューマンネットワーク株式会社
世田谷信用金庫	フジサンケイビジネスアイ
株式会社千葉興業銀行	<順不同>
東栄信用金庫	
東京東信用金庫	
株式会社三井住友銀行	
株式会社武蔵野銀行	
公益財団法人東京都中小企業振興公社	
公益財団法人三菱UFJ技術育成財団	
公益財団法人浅草法人会	
特定営利活動法人ものづくり品川宿	
八王子商工会議所	
第一生命保険株式会社	

「勇気ある経営大賞」過去受賞企業一覧

回数 年	賞 種	会社名 ※【 】内は現在	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地 ※【 】内は現在
第1回 2003年 (H15年)	大 賞	株式会社メディネット	平成7年	「免疫細胞医療法」における医療機関への支援 (サービス)	横浜市
	優秀賞	株式会社キャドセンター	昭和62年	建築シミュレーション等ビジュアルコンテンツ制作 (情報サービス)	新宿区 【現：千代田区】
		株式会社生活の木	昭和30年	ハーブ関連商品の製造・販売 (小売)	渋谷区
		日本風力開発株式会社	平成11年	風力発電所の開発・運営 (エネルギー)	港区
		株式会社ピー・ジー・エム	平成10年	ヨーロッパ古着の量り売り (小売)	目黒区
		マイクロニクス株式会社	昭和60年	電子計測器・情報通信機器の開発・製造 (製造)	相模原市 【現：八王子市】
		マノ精工株式会社	昭和23年	切削による精密金属加工 (製造)	立川市
	特別賞	株式会社太新	平成8年	養殖魚の生産、水産物の加工販売 (卸売)	港区
		株式会社ダイワハイテックス	昭和53年	書籍の包装機械・副資材の製造・販売 (製造)	板橋区
		株式会社ファイマテック	昭和62年	重質炭酸カルシウム(製紙用顔料)の製造 (製造)	港区
		フットマーク株式会社	昭和21年	水泳用品・介護用品等の企画・製造 (製造)	墨田区
第2回 2004年 (H16年)	優秀賞	株式会社アイエス	平成10年	ペットボトル等のケミカルリサイクル技術開発 (サービス)	港区
		株式会社アパレルウェブ	平成12年	ポータルサイト運営、ビジネスマッチング (サービス)	中央区
		エビナ電化工業株式会社	昭和21年	特殊めっき加工 (製造)	大田区
		大智化学産業株式会社	昭和41年	電子部品素材の水溶性加工溶剤の開発・製造 (製造)	墨田区
		株式会社木村技研	昭和23年	各種トイレ・水処理システムの製造・施工 (製造)	世田谷区
		坂田電機株式会社	昭和27年	土木・建築関連の計測機器の開発・製造 (製造)	西東京市
		株式会社シナジー	昭和59年	システム開発製造・販売 (サービス)	品川区
		株式会社日本パープル	昭和47年	機密書類・情報記録媒体の集荷・抹消処理・保管 (サービス)	港区
第3回 2005年 (H17年)	大 賞	株式会社サキコーポレーション	平成6年	プリント基板実装工程向けの自動外観検査装置の開発 (製造)	港区 【現：品川区】
	優秀賞	株式会社アキュラホーム	昭和53年	住宅建築、工務店経営コンサルティング (建設)	さいたま市 【現：新宿区】
		株式会社アタゴ	昭和15年	各種屈折計(濃度測定)の開発 (製造)	港区
		株式会社ウェルシィ	昭和60年	地下水膜ろ過システムの製造・メンテナンス (製造)	中央区 【現：千代田区】
		エム・アンド・エスファインテック株式会社	平成10年	ガラス研磨装置の開発・製造 (製造)	港区
		東成エレクトロビーム株式会社	昭和52年	電子ビーム・レーザによる金属部品の受託精密加工 (製造)	西多摩郡 瑞穂町
		マイルストーン株式会社	平成10年	プラスチック小型非球面レンズの開発・設計 (製造)	府中市 【現：朝霞市】
		三鷹光器株式会社	昭和41年	医療・産業用の光学機器等の開発・製造 (製造)	三鷹市
		ミナミ株式会社	昭和55年	半導体表面実装用スクリーン印刷機の開発・製造 (製造)	府中市
		株式会社ワールドケミカル	昭和46年	油回収ポンプ・システムの開発・製造 (製造)	港区 【現：台東区】
	特別賞	イデアールプロジェクト株式会社	平成15年	リノベーションを主とする不動産開発の企画・運営 (不動産)	目黒区
		株式会社ロコモジェン	平成13年	ゲノム創薬に基づく医薬品・診断薬の研究開発 (サービス)	港区

回数 年	賞 種	会社名 ※【 】内は現在	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地 ※【 】内は現在
第4回 2006年 (H18年)	大 賞	岡野工業株式会社	大正13年	痛くない注射針等の金属加工業 (製造)	墨田区
		株式会社ダイマジック	平成11年	3Dオーディオシステムを活用した音響機器開発 (製造)	千代田区
	優秀賞	京王電化工業株式会社	昭和43年	各種メッキ処理、環境対応型メッキ技術の開発 (製造)	調布市
		スターウェイ株式会社	平成11年	再利用梱包箱を利用した物流業 (サービス)	港区
		株式会社大和テクノシステムズ	昭和42年	理科学機器パーツの精密加工・開発・設計 (製造)	町田市
		株式会社日進産業	昭和52年	特殊多機能性塗料の研究・開発・製造 (製造)	板橋区
		株式会社橋本鋳造所	明治45年	多品種鋳造品の製造・販売 (製造)	大田区
		株式会社松崎マトリクステクノ	昭和17年	繊維編機機械、繊維製品の開発・製造 (製造)	板橋区
		株式会社明王化成	昭和44年	電子部品精密成形、精密金型設計製作 (製造)	大田区
		株式会社ユニフローズ	昭和60年	分析装置用マイクロポンプの開発・製造 (製造)	あきる野市
	特別賞	有限会社酒舗まさるや	昭和43年	地酒と本格焼酎を専門とした酒の販売 (小売)	町田市
第5回 2007年 (H19年)	大 賞	株式会社チバダイス	昭和41年	小型精密歯車の開発・設計・製造 (製造)	葛飾区
		東光薬品工業株式会社	昭和36年	白血病治療薬の開発・製造 (製造)	足立区
	優秀賞	株式会社イビス	昭和40年	自社ブランド革製手作りバッグの製造 (製造)	港区
		京西テクノス株式会社	平成3年	全メーカーの計測・医療・通信機器の保守・修理 (サービス)	八王子市 【現：多摩市】
		昭和測器株式会社	昭和43年	様々な分野における振動計測器の開発 (製造)	千代田区
		株式会社東京信友	昭和58年	聴覚障がい者用情報伝達機器の開発 (製造)	新宿区
		株式会社浜野製作所	昭和53年	レーザー加工・金型・精密板金・プレス加工 (製造)	墨田区
		株式会社ワールドパイオニア 【現：ダブル・ビー株式会社】	平成3年	聴覚障がい者向け機器製造及びサポートサービス (製造)	中野区
	特別賞	株式会社ヤマグチ	昭和40年	地域密着型家電小売業 (小売)	町田市
第6回 2008年 (H20年)	大 賞	株式会社エリオニクス	昭和50年	ナノテク研究用の超微細加工・分析装置の開発 (製造)	八王子市
		大和合金株式会社・ 三芳合金工業株式会社	昭和16年 昭和38年	特殊銅合金の開発・製造 (製造)	板橋区 埼玉県入間郡
	優秀賞	日本分析工業株式会社	昭和40年	液体クロマトグラフの開発・製造 (製造)	西多摩郡 瑞穂町
		株式会社マルコム	昭和48年	はんだ付け関連装置及び核酸抽出装置の開発 (製造)	渋谷区
		株式会社メトロール	昭和51年	機械式高精度接触センサの開発・製造 (製造)	立川市
		株式会社リーテム	明治42年	廃棄物処理及び環境コンサルタント (サービス)	千代田区
	特別賞	有限会社原田左官工業所	昭和24年	左官工事及び湿式工事 (建設)	文京区

回数 年	賞 種	会社名 ※【 】内は現在	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地 ※【 】内は現在
第7回 2009年 (H21年)	大 賞	坂口電熱株式会社	大正12年	あらゆる産業向けのヒーター及び部品の製造・販売 (製造)	千代田区
	優秀賞	株式会社井口機工製作所	昭和30年	ボールベアリングを用いた搬送用装置の製造 (製造)	練馬区
		株式会社相馬光学	昭和51年	光を利用した分析・測定・計測機器の開発 (製造)	西多摩郡 日の出町
		株式会社田代合金所	大正3年	錫合金を用いた内装建材の製造 (製造)	台東区
		株式会社ヒキフネ	昭和7年	装飾・機能・精密などあらゆる種類のめっき加工 (製造)	葛飾区
	特別賞	株式会社OKUTA	平成4年	自然素材を利用した住宅リフォーム (建設)	さいたま市
		株式会社環境経営総合研究所	平成10年	古紙と樹脂を混練・成形した紙製容器等の製造 (製造)	渋谷区
		久米繊維工業株式会社	昭和10年	国産オリジナルTシャツの企画・製造・販売 (製造)	墨田区
		グラバックジャパン株式会社	大正14年	印刷、紙器製造、レンズシートの製造・販売 (製造)	墨田区
		株式会社ズーム・ティー 有限会社奥谷硝子製作所	昭和62年 昭和38年	ドクターベッタほ乳びんほかベビー用品の販売(小売) 手作りによる各種ガラス製品の製造(製造)	港区 江戸川区
第8回 2010年 (H22年)	大 賞	アルケア株式会社	昭和30年	医療・福祉・健康分野器具の開発・製造 (製造)	墨田区
		日本理化学工業株式会社	昭和12年	チョークを中心とする文具・事務用品製造 (製造)	川崎市
	優秀賞	株式会社オブナス	昭和5年	自動販売機・住宅ドア等の錠及び鍵の製造 (製造)	千代田区
		株式会社グルメン	昭和59年	日配食品を中心とする食品流通 (卸売)	港区
		株式会社長津製作所	昭和25年	精密プラスチック金型の設計・製作 (製造)	川崎市
		株式会社マテリアル	平成4年	非鉄金属材料販売、精密機械加工 (製造)	大田区
		株式会社ミラック光学	昭和38年	精密光学機器・位置決めステージ等の製造 (製造)	八王子市
	特別賞	アラヤ株式会社	平成16年	製品の取扱説明書等の多言語翻訳 (サービス)	目黒区
		株式会社大麦工房ロア	昭和61年	大麦を使った菓子・食品の製造・販売 (製造)	足利市
		有限会社モーハウス	平成9年	授乳服の製造・販売 (製造)	つくば市
第9回 2011年 (H23年)	大 賞	株式会社サカエ	昭和27年	電気機械器具製造業(シーズヒーター、シュレッター、 検査用医療機器等の製造・販売)(製造)	港区
	優秀賞	アトムメディカル株式会社	昭和13年	医療機器の製造、販売、輸出入及び保守、メンテ ナンスサービス(製造)	文京区
		小杉造園株式会社	昭和18年	庭園のデザインから施工、メンテナンスまでの一連 の業務請負(建設)	世田谷区
		株式会社データ・テック	昭和58年	車載機「セイフティレコーダー」の開発、販売及び支援業務 (製造)	大田区
		株式会社旅籠屋	平成6年	ロードサイドホテルチェーン「ファミリーロッジ旅 籠屋」の経営(サービス)	台東区
		深中メッキ工業株式会社	昭和27年	電気メッキ業(主に、電子部品の表面処理) (製造)	墨田区
	特別賞	福永紙工株式会社	昭和38年	印刷 紙器加工 (製造)	立川市
		株式会社ベアーズ	平成11年	家事代行、介護支援、子育て支援、ハウスクリーニング (サービス)	中央区

回数 年	賞 種	会社名 ※【 】内は現在	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地 ※【 】内は現在
第10回 2012年 (H24年)	大 賞	株式会社日本レーザー	昭和43年	レーザー・光学機器製品の輸入販売及び自社品 開発販売・サービス(卸売)	新宿区
	優秀賞	株式会社鬼塚硝子	昭和42年	各種ガラス機器、CO2レーザー、電界放出型X 線管の製造販売(製造)	青梅市
		有限会社清田製作所	昭和38年	半導体関連電子部品回路検査装置用コンタクト プローブ製造・販売(製造)	北区
		株式会社コヤマドライビングスクール	昭和32年	自動車教習所 (サービス)	渋谷区
		ダイヤ精機株式会社	昭和39年	自動車メーカー及び部品メーカー向け精密部品・ 治工具、設計(製造)	大田区
		株式会社田中医科器械製作所	大正5年	手術用鋼製手術器械の製造販売 (製造)	北区
		武州工業株式会社	昭和27年	自動車用金属加工部品・医療機器部品製造、自動 制御機械製作(製造)	武蔵村山市
	特別賞	山万株式会社	昭和26年	建築設計施工、宅地造成販売、不動産売買、仲介、 賃貸、鉄道事業(建設)	中央区
		株式会社ユーグレナ	平成17年	ユーグレナ(和名 ミドリムシ)の研究開発・生産品 質管理・販売(製造)	文京区
第11回 2013年 (H25年)	大 賞	株式会社内野製作所	昭和2年	新車開発用の歯車試作からF-1や航空産業用の 歯車までを製作する製造業(製造)	八王子市
	優秀賞	カネパッケージ株式会社	昭和51年	各種緩衝材・設計・試験・製造・販売(製造)	入間市
		株式会社西尾硝子鏡工業所	昭和7年	商業施設で使用されるショーケースなどのガラス 加工・施工業務(建設)	大田区
		日進精機株式会社	昭和32年	超精密金型製造及び精密金属プレス加工、C N Cパイプベンダー他製造販売(製造)	大田区
		株式会社ミノダ	昭和39年	キャラクター商品企画製造、ワッペン等刺繍加工、 通販サイト運営(製造)	千代田区
		株式会社ユニパック	平成2年	フィルタ製造販売、空調設備の保守、管工事・ 電気工事(建設)	川口市
	特別賞	システム・インストルメンツ株式会社	昭和47年	医療、環境、健康、バイオ関連装置の製造・販売 (製造)	八王子市
		株式会社清和光学製作所	昭和22年	光学精密機器・装置開発製造(製造)	中野区
第12回 2014年 (H26年)	大 賞	株式会社アイオイ・システム	昭和59年	電子関連機器の設計・開発、製造・販売(製造)	大田区
	優秀賞	芝園開発株式会社	昭和61年	時間貸の駐輪場・駐車場の運営管理、放置自転 車対策事業などの受託(サービス業)	足立区
		株式会社東洋ポデー	昭和31年	トラックの荷台(リアボディ)の設計・製造・販売 (製造)	武蔵村山市
	特別賞	有限会社エニシング	平成12年	日本伝統の帆布素材の前掛けの企画製造販売 (小売)	小金井市
		東京ブラインド工業株式会社	昭和24年	各種ブラインド・間仕切りの製造・販売・保守・ 修理サービス(製造)	港区

※データは受賞当時のものです。



「勇気ある経営大賞」運営事務局

東京商工会議所 中小企業部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-1丸の内二丁目ビル

Tel.03-3283-7644

URL : <http://www.tokyo-cci.or.jp>